

第 34 号 平成 26 年 4 月 1 日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360

(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>

《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切に 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

1 患者様本位の医療

患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します。

2 職員の人材育成

優れた人材を育成するため教育・研修を充実します。

3 経営の安定化

職員の生活の基盤として、病院の経営状態を安定化します。



病院の理念について



病院だけでなく各施設や学校、修道会にも創立当初から表現は違っても理念や建学の精神といったものが必ずあります。創立者が理想としたものは時代が変わっても必ずこの精神は大切に引き継がれていくものです。

復生病院の場合、訪れる人が玄関先で何かを感じるらしく、よく「他の病院とどこか違いますね。」と言われます。建物そのものからくる雰囲気も影響しているかもしれませんが、長年の間に培われた先人たちの魂のようなものがあるのだと私は思っています。職員たちは充分理解しているかどうか分かりませんが、就業の始めに「復生病院の理念」を斉唱していますので、その精神は必ず仕事に表れて来ているはずで。入院患者さん一人ひとりを大切に、暖かくお世話することに関しては決して他所に劣らないことを私は何度も耳にしています。

病院に聖堂があり、そこで毎朝祈りが捧げられ、患者さん方もお世話する職員に連れられて、よく祈りにいらしています。ことばも大事ですが、祈りはことばでなく心です。理念の最初にある「キリストの愛に基づいて」ということばも、キリスト教を知らない方でも人間として他者を大切にする心、喜びや苦しみに共感する心があれば、それはキリストの愛の心と同じなのです。過ぎた平成 25 年度を神様と職員・ボランティア、恩人方に感謝をお捧げし、新しい 26 年度、たとえ困難があっても、医療という命に向き合う、大切な仕事に前向きな姿勢で希望をもっていきましょう。

理事長 秋本福子





平成 25 年度成果・研究発表会を終えて



教育師長 杉山美貴子

今年度より「成果・研究発表会」と名称変更すると共に「研究発表までの手順書」も作成し体制を新たにスタートしました。結果的には昨年度と同様の 3 部署からの発表に留まりましたが、内容は年々充実してきている、と大きな手ごたえを感じることができました。看護部においては来年度、看護協会東部地区会の研究発表会に参加できるよう取り組む予定です。業務の見直しや研究への取り組みは、復生病院の医療や看護の質向上に直結するものであるため、今後も引き続きこの会が充実していくよう教育研修委員が中心となり努力していきたいと思っています。



療養病棟
高橋 美樹 さん

「療養病棟における看護師と看護補助者のチームワークの実態

～アンケート調査による思いの結果から～

昨年 4 月に病棟師長から看護研究のお話を頂いた時は、自分にできるのか不安がありました。成果発表会を終えて、病棟師長や教育師長をはじめ病棟の仲間に支えられて無事に大役を終えることが出来たことに感謝しています。「療養病棟における看護師と看護補助者のチームワークの実態～アンケート調査による思いの結果から」と題して研究を行い、この結果から患者様に質の高い看護の提供を療養病棟スタッフみんなで目指し努力していきたいと思えます。

「患者に生きがいを与えるスタッフの関わりかたとは

～経管栄養剤注入時間を短縮した患者の事例を通して～

今回の看護研究では、ホスピス病棟に入院し経管栄養剤の変更を行った患者さんとの関わりについて振り返る症例検討を行いました。普段何気なく行っている看護行為や患者さんへの対応を振り返ることで、患者さんにどのような影響を与えているか改めて実感する良い機会となりました。研究の結果を今後の看護に生かしていきたいです。準備期間が少なく大変でしたが、病棟スタッフの協力もあり無事に看護研究を終えることができました。



ホスピス病棟
桑原 梨詠 さん

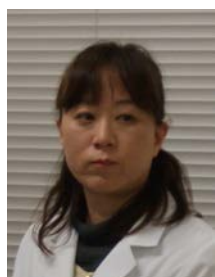
「地域高齢者の低栄養予防のための取り組み事例報告

～『元気に長生き健康教室－自宅で自立した生活を少しでも長く－』～

昨年度の栄養調査に続き今年度は神山地区で実施した健康教室について報告致しました。健康教室の開催にあたっては、神山地区の皆様や病院職員の協力によるところが大きかったと感謝しています。

健康教室は病院としても初めての取り組みでしたが、充実した時間を過ごすことができ、地域と病院をつなぐ第一歩となれたのならうれしく思います。

2 年間という時間を費やした研究もこれで終了しますが、今後も研究で得たものを活かしていけたらと思います。



栄養課
伊藤 陽子 さん

職場紹介(医局)



医局とは医師の控え室でありお茶菓子でちょっと一息して英気を養う場です。TV ドラマ『ドクターX』や『白い巨塔』に出てくるようなドロドロとした人間模様を思い浮かべる方がいるかもしれませんが、あれは何十人も医師が在籍する大学医局の特殊な世界の話です。当院の医局は院長の飛澤先生、診療部長の平田先生と私の 3 名からなるこじんまりしたものです。毎週開かれる定例医局会では予定の確認や患者さんの症例検討などを行っています。非常勤医の林先生をはじめ、土曜日の皮膚科や土日当直を担当する先生も利用しており、貴重な情報交換の場にもなっています。

写真：左 平田先生 右 院長先生 中央 筆者 (文責 江藤)





ボランティアコーディネーターとして



ボランティアコーディネーターとして、復生病院を支えて下さった多くの方々との出会いの有難さを、本当に感謝しています。

昨年、自らの経験から受刑者や出所者のために、民間非営利団体「マザーハウス」を立ち上げた五十嵐弘志さんは「人生は出会いで決まる」と話しておられますが、その神秘を実感し出会いの中で沢山の学びがありました。復生病院でのボランティア活動は多様ですが、どの活動もご自分の時間を割いて、出向いて下さったことに、心から感謝しております。



シスター 鈴木フミ

シスター鈴木は、約7年間、復生病院のボランティアコーディネーターを務め、3月10日付で東京第一修道院に転勤となりました。新たな勤務地でも、とびきりの笑顔で活躍されることと思います。

阿部志郎先生 講話



阿部 志郎 先生

3月3日に職員研修として、神奈川県立福祉大学 名誉学長の阿部志郎先生の講話が行われました。阿部先生は、実業家を目指し経済を勉強されていましたが、復生病院に訪れ井深八重さんに出会ったことから、ソーシャルワーカーとなり社会福祉の方面でご活躍されました。現在は復生記念館の保存普及委員会の委員長をされています。また5月の井深八重さんの命日には、毎年欠かさず墓参されています。

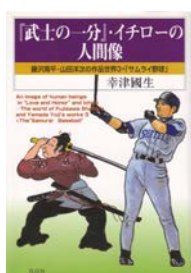
約1時間の講話では、アメリカのチョコレート王と呼ばれる、ハーシー・S・ミルトンを例にチョコレートで得た利益で街の整備や孤児のために施設を作り、その後も支えるという欧米的な社会福祉の精神が、フランス人宣教師が始めた復生病院にも、根底にあるということ、歴代の院長や職員の苦労や精神を写真なども交え説明頂きました。そして、福祉の道に入るきっかけともなった井深八重さんに初めて会った時は「いと小さき者の一人」を感じ、いと小さき者の一人の幸せが欠ければ全体の幸福はないと、聖書の中に出てくる一説を理解できたそうです。実は、その看護婦さんが井深さんだとは知らず、井深八重さんと知ったのは何年か後だったとのことでした。

この病院にはホスピスがありますが、人の終末についても、人は年を重ねていくと死を意識してきますが、日本人の多くは、ぼっくり死にたいという人が多いようです。欧米ではある程度の年齢になると、死への準備をする方が多く、自分のルーツを探したり、今までの人生をまとめたりすることで、神様のところへ行く、死を迎える、それを受け入れることができるのだと思う。そういった時間を作るのも大切ではないかということでした。そして、終末をお世話する医療従事者はバランスが大切であり、バランスを保ち医療の提供をしていってほしいと締めくくられました。

当院の関係者以外から病院のことを聞くのは新鮮で、大変意義のあるお話をさせていただきました。

(文責 森下)

今回のおすすめ



『武士の一分』・イチローの人間像 著者 幸津國生 発行 花伝社

「著者は、私が大学時代に指導して頂いた研究室の教授です。沢山の面白い本を執筆している教授ですが、この本は、戦闘技術としての剣術から野球における打撃技術へ、歴史を超える視点を持ち、野球技術をどこまでも追及するイチローに焦点を当て、今日求められる人間像を探っている、まさにスペクタクル巨編です。私がお勧めする1冊です。」

地域連携・医療福祉相談室 和田昌子



外来担当表



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 循環器科(関口) (第3週) 心療内科(飛澤) (予約制)	内科(林)	内科(平田)	内科(林)	内科(江藤) 心療内科(飛澤) (予約制)	内科(飛澤) 皮膚科 (皮膚科外来予定表を ご覧下さい)	休 診
午 後	循環器科(関口) (第3週) 14:00~15:30	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田) (予約制)	休 診	休 診	

□ 大腸がん検診・肺炎球菌予防接種をご希望の方は受付・外来にご相談下さい。

平成 26 年 4 月 1 日より診療報酬改定等でご負担いただく金額が変更となります。

ご不明な点は医事課までお尋ね下さい。



皮膚科外来予定表

太田 有史 医師			
診察開始	9:00	診察日	4/5・5/3は休診となります・6/7
新村 真人医師			
診察開始	9:00	診察日	4/12・5/10・6/14
石地 尚興 医師			
診察開始	9:00	診察日	4/26・5/24・6/28

お知らせ：第3、5土曜日の皮膚科外来は休診となります。

□都合等により、休診や代診の場合があります。

お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

皮膚科医師紹介②

石地尚興 医師



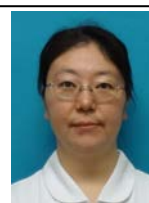
東京慈恵会医科大学附属病院
皮膚科 診療副部長
専門：ウイルス感染症
アトピー性皮膚炎
診察日：毎月第4土曜日
(都合により変更あり)



新しい仲間の紹介「宜しくお願いします♪」



和良品 智恵 (ホスピス 看護師)
緩和ケア希望で入職しました。早く環境に慣れるよう頑張ります。よろしくお願いします。



芹沢 美佳子 (療養 看護師)
看護師2年目になります。心機一転、頑張ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



久保 智子 (ホスピス 看護師)
ここで過ごせてよかったと思って頂けるようお手伝いしていきます。よろしくお願いします。

看護師
募集中

ホスピス・療養に興味のある看護師さん
見学も出来ますので、ご連絡下さい。

連絡先：0550-87-0004 担当：森田

編集 後記



2月の大雪がまだ残る頃、ホームセンターの園芸コーナーにたくさんの薔薇の苗木を見つけ悩みに悩んだ末、数日後その中のひとつを購入し、薔薇に詳しいTさんに教えてもらいながら植えました。

花が咲くにはほど遠いのですが、毎日眺めているだけで癒されている気がします。

トゲがあってもかわいいですよ。次号は7月です...お楽しみに!!

